

犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和5年度実績)

			成果報告内容	成果指標	令和5年度進捗状況	備考
項目1（業務タイトル）		項目2（事業内容/仕様書内容）	★は月次報告を行う	令和5年度		
事務局		・運営委員会（全構成員で組成）			定期的な運営会議を開催（毎月第1(金)）	
		・事業ミーティング			各事業からの相談・マッチング案件の共有・提案・進捗確認（毎月第3(金)）	
		・協働プラザミーティング			定期的な打ち合わせを開催 プラザMTG：毎月第3(水)。プラザMTGmini：プラザMTG実施週を除き毎週	
		・事務局ミーティング			1か月ごとの集計、事業・成果指標達成状況確認、予算管理等（毎月第4(金)）	
		全体統括、市との調整、事業推進等			市との調整：松浦恵・森好、全体統括：森好、事業推進：佐曾利	
		スタッフのバックヤード業務			勤怠管理、報告書、消耗品等の管理	
		システム管理			サイボウズを活用して、進捗管理を実施 ・日報、相談記録、稟議等	
		会計管理			会計業務・コインベンダー管理等	
1)プラザの受付及び情報発信	ア	施設利用や備品利用、啓発や周知を目的とした展示の受付対応等	★開館日数、受付勤務実績 ★利用件数、施設の活用実績 施設内における掲示情報等の状況写真 エ ホームページの主な発信内容 オ 作成した機関誌等成果物	開館日数 300日 来館者数 8000人／年 情報発信 NEWS 年4回／年 HP 50回／年 LINE 50回／年 HPアクセス件数 10,000件／年	受付対応（施設利用・印刷・チラシ・備品利用） 新型コロナウイルス対策の規制緩和に伴い、フリースペースの利用が増加。 利用方法を明確化し、利用ルールを各所に設置して周知を行っている。 チラシ受付、書籍貸出等の管理を実施。	交流スペース予約：225件 輪転機利用：233件 (展示スペースの主な活動掲示団体) ・尾張輝虹会スターレインボー：4回 ・いぬやまe-コミュニティネットワーク：4回 ・紫鷲書道サロン：1回 ・愛知県立犬山高等学校：1回 ・名古屋経済大学：年間
	イ	施設内の整理、整頓				
	ウ	チラシ、パンフレット、関連書籍等の収集、掲示、設置				
	エ	施設利用に関する市所管課との連絡調整、日報の作成			随時	
	オ	利用団体の登録に関する事務			市民交流センター登録の随時受付、市民活動団体登録支援	
	カ	ホームページやSNSによる情報発信			・公式LINE、Facebook、Twitter、Instagramを随時更新 ・SNSを使用しない人向けのメール配信も実施	公式LINE登録：174名、X(旧Twitter)フォロワー：251名、 Facebookフォロワー：432名、 Instagramフォロワー：（プラザ）513名、（つなフェス）436名
	キ	紙媒体の機関誌の発行（年4回）			年4回発行（A3両面カラー、夏・秋・冬・春号） ・バンク資源・マッチング事例紹介、助成金情報、事業レポート等	各1,300部発行
	ク	施設の利用促進に関する取組みの実施			事業関連の申込受付・登録受付 相談に関する受付対応（金曜日のみ、19時まで受付延長） 意見箱の設置継続中	来場者アンケートの実施 回答48件 約85％が満足と回答
2)相談・助言業務	ア	団体の設立・事業企画・事務処理・組織運営、協働事業の企画、マッチング、評価などの相談窓口	ア 相談対応を行った件数、内訳等、全体の結果 イ ★相談の日時、対応時間、相談者、助言者、内容を記したカルテ	相談件数 80件／年 ジムジム相談会参加数 40人／年	(1)予約相談 固定の相談日は設けず、予約受付して実施中 事前に受付する際の相談受付シートを作成して調整	相談・助言件数：118件 ※R4実績：101件
	イ	地域活動、事業者の社会貢献活動を念頭に置いた周知、接遇、時間帯など、相談しやすい環境づくり			(2)気軽に相談できる場所としての周知を狙い、毎回テーマを設定して開催する「事務局のための事務局活動支援ジムジム相談会」を継続開催	開催数：8回、参加者：21名 ※R4実績 8回、33名
	ウ	専門家への協力依頼、プロボノの活用など、ニーズに対応できる体制の構築			(3)市民活動助成金の事前相談受付を実施	事前相談件数：17件（内11団体が申請）

相談・連携案件の事例

○団体と地域事業者との連携

LGBTQの理解促進のため講座やワークショップを行う0_COLORより、市内で開催されるマルシェに、ワークショップの出店をしたいとの相談。過去の参加経験も踏まえ、市内で開催されるマルシェを紹介した。

併せて、大同メタルが実施するプロボノプログラムを紹介。興味を持った0_COLORが、事業申請を行ったところ採用され、プロボノの支援を受けて、企業向けLGBTQ研修の企画と資料の作成を行った。作成した資料を基に、今後研修を行っていく予定。

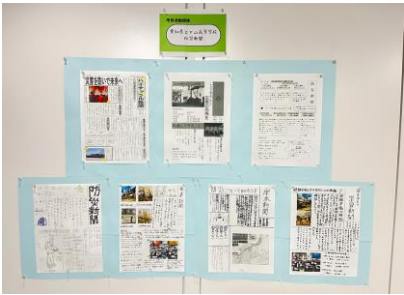
○市民活動と事業活動の差別化について

市内でフォトスタジオを運営しながら、地域貢献として市民活動団体を立ちあげているfocus in 犬山より、それぞれの活動のターゲットや、アプローチの仕方の違いなど、活動を切り分けることについて相談。市民活動としてのニーズと、市内で同じような活動を行っている方を紹介した。

○マッチング支援

犬山市観光協会が歴史まちづくり課と進めている「犬山城みらいサポーター」事業で、一緒に進めていける市民活動団体を紹介してほしいと相談があり、「犬山城跡整備復元を盛り上げる会」と「犬山・伝統と暮らしを楽しむ会」に繋いだ。

展示スペース活用例



▲犬山総合高校 防災チラシ



名古屋経済大学▶

ジムジム相談会実施テーマ

- ①グループや団体の運営ってどうしてる？
- ②チラシを作る時のコツは？
- ③情報発信にSNS（LINE等）を活用するには？
- ④企画書の作り方が知りたい
- ⑤活動資金の作り方が知りたい
- ⑥仲間集めはどうしてる？
- ⑦次年度に向けた計画をたてるには？
- ⑧事業報告と会計について知りたい



(地域資源バンク) マッチング事例

己書道場×カフェプラスアルファ

ワークショップの開催場所を探していたFS@犬山の参加者が、カフェプラスアルファでFS@犬山を開催したことをきっかけに、ワークショップの開催場所として利用した。

また、カフェプラスアルファを利用したいという相談も多く、ミーティングやマルシェができるスペースとして今後も活用されていく。



犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和5年度実績)

		成果報告内容	成果指標	令和5年度進捗状況	備考
項目1 (業務タイトル)		★は月次報告を行う	令和5年度		
③地域資源バンク シェアエコによる活用	ア	人材情報の収集 3年間で50件	情報収集 (人材) 20件/年 情報収集 (資機材等) 10件/年 マッチング件数 35件/年 ※表は25件 いぬやまでばんの活用 登録案件 50件/年	新規登録を随時受けつつ、Webサイトを運用中 既存の地域資源バンク登録者の情報を更新し、webサイトの構成内容の見直しも実施 アウトリーチ活動に合わせて、地域資源の発掘も進めている	新規登録件数 : 63件 (人材: 47件、資機材・機会: 16件) ※R4実績: 67件 (人材: 28件、資機材・機会: 39件)
	イ	空間、活躍の機会、資機材 3年間で30件			
	ウ	収集した情報は整理し、一覧表等にまとめる			
	エ	HP、SNS等での情報発信、新着情報の更新、活用事例の広報、登録・活用のPR		プラザの情報発信事業と連携して実施 LINEの1対1トーク機能を活用して、事例紹介や資源の問合せなど、登録者をサポート	LINEのオープンチャットを活用した「つながるオンラインコミュニティ」を立上げ。
	オ	マッチングを3年間で100件 地域課題の解決に向け当事者へのヒアリング、団体の会合に出席して 情報交換、能動的に情報活用を仕掛けて実績をあげる		令和2年度に行った市民活動団体の現状調査を令和6年度に実施予定	マッチング件数: 36件 ※R4実績: 18件 (マッチング事例) 楽田地区のサロン活動で、高齢者向けの講座を開催してくれる人を 探しており、健康関連の講座ができるチームKIZUNAに繋げた。
	カ	「いぬやまでばん」の運営 ㊦WEBサイトの更新、メンテナンス ㊦アカウント登録、退会、案件登録の承認、サポート ㊦インターネット決済のサービス手配 ㊦説明会や講習会の開催、事例発信、普及及び利用の促進		㊦WEBサイトの更新、メンテナンス シェアエコサイトとして必要機能の部分改修・機能追加を行った (案件のランキング表示、相互 評価機能の追加、管理者の表示変更等) ㊦案件の登録があった場合、内容を確認し、承認を行う (随時実施) ㊦インターネット決済があった場合、売上確認等の事務を実施。 (R5はなし) ㊦説明会や講習会の開催、事例発信、普及及び利用の促進 ・自主事業「シェアを学ぶ実践講座」の開催 (6.自主事業及び人材育成参照) ・R4に実施したシェア実践講座の受講生有志で定期的に開催している、オンラインでつないで作 業を行う「もくもく会&交流会」の伴走支援	登録案件数: 42件 申込件数: 26件
④フューチャーセッショ ン@犬山の実施	ア	犬山に対する思いのこもった問いを引き出す各対話テーマの検討 (「創造的な語り場」として、犬山を舞台に何かやってみたいメンバー が自由に語り合い、対話から新しい価値を生み出す)	開催回数 5回/年 参加者数 累計 100人/年 新規 5人/月	R5年度は、前半にゲストスピーカーによるゲストトークを提供し、後半の時間を対話とすること で、新たな視点を心得て対話を行うことができた。 企画運営には、まちづくりに対して当事者意識を持ってもらうため、参加者から実行委員を募っ て、協働プラザによる支援も行いながら実施した。 また、地域団体の積極的な参加も得るため、年齢制限を設けずに実施した。	開催回数: 5回 ※R4開催実績: 7回 実行委員: 13名 延べ参加者数: 105名 ※R4実績: 122名 新規参加者数: 50名 ※R4実績: 57名
	イ	議論の幅を広げるための事例やゲストスピーカーの選定、手配			【テーマ(ゲストスピーカー)】 ①令和のおせっかい (コミュニティナースカンパニー株式会社 西田 悠一郎氏) ②つながる力 (椋山女学園大学教授 谷口 功氏) ③多様性～まちの中のすこしとたくさん～ (スウェーデン在住保育士 栗 朝菜氏) ④外からみたまち、内からみたまち (名古屋経済大学特任教授 山田 拓郎氏) ⑤アイデアから一歩～よし、やってみよう!～ (まち楽房有限会社 代表取締役 加藤 武志氏)
	ウ	年間プログラム (年間5回程度) の企画、広報媒体の作成、印刷、WEBで の発信			
	エ	会場設営、参加者受付、当日の進行			
	オ	参加者間の関係性の構築、ファシリテーションの指導			
	カ	持ち込まれる問いの社会的価値への誘導			
	キ	協調した行動につなげるための対話の誘発			
	ク	ニュースレターの発行			
	ケ	生じた活動、事業のサポート			
	コ	成果発信及び表彰		各回の参加者が作成したワークシートを協働プラザの壁面に掲示し、FS@犬山に参加していない 人に対しても関わるきっかけづくりを行った。 最終回は、グループごとに出したアイデアに対していいね! シールを付け、今後への期待を込め て表彰を行った。	

(フューチャーセッション)実施風景



▲第1回 (協働プラザ 交流スペース)
コミュニティナースとの出会いや、これま
での活動事例、地域への拡がり、地域おせっ
かい会議などの話を聞き、「おせっかいして
ほしいこと」を参加者で共有し、つながり作
りを体験した。



▲第2回 (カフェプラスアルファ)
つながるための前提を整えるために言
語化する事や、言語化する際には、ナラ
ティブと言われる語り手(私)自身が紡
いでいく物語として伝えることが共感を
生み出すなどの話を聞き、「私を表す言
葉」を使ったセッションを行った。



▶第4回 (名古屋経済大学)
立場が変わっても変わらない多角的な視
点、つながるために人間力を高めるための
7つの行動などの話を聞き、犬山の良いと
ころとその未来についてセッションを行っ
た。



▶第5回 (協働プラザ 交流スペース)
ファシリテーターを始めたきっかけや、
犬山でのまちづくりの事例を通して、場を
作る人の心得などの話を聞き、10年後に実
現したい未来とそのトライアルについて
セッションを行った。



▲第3回 (オンライン (Zoom))
スウェーデンの若者たちがもつ、社会に
影響を与えることに対する意識や、自己肯
定感の形成などの話を聞き、「多様性」と
いうテーマで、これからの犬山にとって大
切だと思うこと、アイデアについてセッ
ションを行った。

犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和5年度実績)

項目1 (業務タイトル)		項目2 (事業内容/仕様書内容)	成果報告内容 ★は月次報告を行う	成果指標 令和5年度	令和5年度進捗状況	備考
(5)地域活動の担い手育成事業	ア	コミュニティナースの概念やその手法等を学習する講座を開催するとともに、受講者同士のつながり作りを行い、委託期間内で20人以上の担い手を育成する	ア★担い手育成講座の実施結果 イ 育成した担い手の活動、及びその結果に関する調書 ウ 状況写真	地域における社会課題の解決に向けた取り組み 1件/年 支援事業から生み出される新規事業 2件/年 コミュニティナースの育成 10名/年	・コミュニティナース・ベーシック講座 「毎日の嬉しいや楽しい」を地域住民とともにつくり、「心と身体の健康と安心」を実現する「コミュニティナース活動」の概念を基に、暮らしの身近な存在として、地域に必要な機能をつくっていく人材を育成するため、「コミュニティナースベーシック講座」を実施。 (R6) ベーシック講座を元に犬山市に即した研修内容を検討しプログラム化 (R7) 市民だけでなく事業者にもミナスの理解促進を図り、地域に必要な機能をつくることへの参画を促す	開催回数：3回、受講者：15名（うち市外在住：2名） ※市外は受講料33,000円 【テーマ】 ①第1項 関係をきずく、第2項 つぶやきを拾う ②第3項 まずはやってみる、第4項 みんなで物語をつくる ③第5項 健康のイメージを広くもつ、出発式
	イ	育成した担い手が各地域で活躍できるように支援を行うとともに、活動状況について把握を行う			・コミュニティナース育成説明会 担い手育成の過程からその後の活躍も含め、地域活動に関わる事業を展開している関係各課や機関と連携していくため、説明会を開催。第1部は全関係者向けの説明会、第2部は現場職員向けの体験ワークショップとして実施した。 ・コミュニティナース支援、アウトリーチ 各コミュニティナースが行った活動をLINEグループで共有し、進捗確認と伴走支援を行った。また、コミュニティナース主催のイベントへのアウトリーチも行った。	参加者：41名 ※市役所（福祉課、高齢者支援課、健康推進課、企画広報課） ※関係者（協議体、コミュニティ推進協議会、市内大学・高校、犬山病院、郵便局、青年会議所等）
(6)自主事業及び人材育成	ア イ ウ エ オ カ	組織運営や連携、協働に関するセミナーや勉強会等の実施 事業者の社会貢献活動の促進、支援事業の実施 クラウドファンディングも含めた資金調達に関する伴走支援の実施 団体の情報交換を目的とした交流会の開催 協働のまちづくりに関する市職員研修の企画、実施 その他発注者が必要と認める受託者の企画事業の実施	ア★事業の結果概要及び成果物 イ 状況写真	既存団体の促進・交流会の件数 1回/年 組織運営や連携、協働に関する勉強会 開催回数 2回/年 参加人数 20人/年	・”地域資源のシェア”を学ぶオンライン実践講座 「犬山地域資源シェアエコサイトいぬやまでばん」の活用促進として、資源の内容を言語化し、発信する方法を学ぶオンライン講座を実施（アーカイブ受講有）。 R4は（一社）シェアリングエコノミー協会から講師を招いて実施したが、R5はR4の経験を活かし、協働プラザ職員が講師を務めた。（資料等は（一社）シェアリングエコノミー協会のものを使用） ・場リスタ（場づくりマスター）養成講座 クリニック編 フューチャーセッション@犬山の一環として実施。参加者が各々の活動場所で、気づきや学びが得られる機会としてセッションの再現ができることを目的として、対話の場の作り方を学ぶ講座を開催。	開催回数：3回、受講者：12名 ※R4実績 開催回数：7回+個人面談、受講者：18名 【テーマ】 ①安心して資源を活用してもらうためのWEBライティング ②検索ワードは何？利用者視点のWEBライティング ③いぬやまでばんサイトに登録してSNSでシェアしてみよう
						参加者：12名
(7)その他の業務	ア イ ウ	市が実施する事業に関して必要に応じ協力する 発注者と受注者は、役割分担及び成果指標に対して協議を行い、事業計画を作成し、適宜見直しを行う 受注者、行政担当職員、その他必要なもので構成する「協働プラザミーティング」を月1回実施し、運営状況の共有、改善協議を行う	ア 市に対する協力実績 イ★「協働プラザミーティング」実施記録		・助成金の制度概要を説明する「助成金申請にトライしてみよう！」説明会を実施。 ・助成金事前相談、個別サポート ・附属機関会議への出席等	

(コミュニティナース・ベーシック講座)実施風景



コミュニティナース・ベーシック講座修了生 活動実績

いただきますの会

参加者が持ち寄った食材を、炊でご飯とお味噌汁にして、食べて片付ける活動を実施。

子どもの居場所づくりや同じごはんを食べたい人が集まる場になっており、来たいと思った人が気軽に来れる場所になるよう、定期的に活動を行っている。

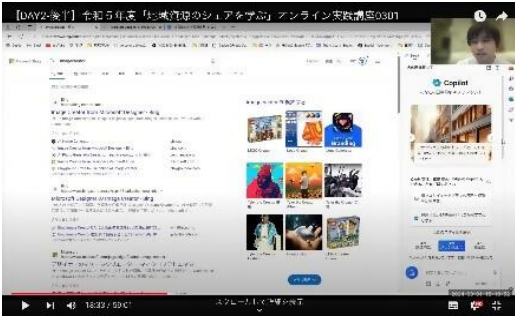


あんきサロン

今井地区の旧今井あんきの家で行われているサロンのお茶会に参加。ホットプレートでお好み焼きを焼いて食べる日で、参加者からは、「みんなで食べると美味しいよ！」などといった人の温かみを感じられたような感想が飛び交った。お好み焼きを焼く手伝いをしながら、参加者の話を聞いた。この後も、サロンに継続的に手伝いとして参加し、地元の方との信頼関係を築いている。



(シェア実践講座)実施風景



(場リスタ（場づくりマスター）養成講座)実施風景

